

計画改定のポイント

男女一人ひとりの**生き方に着目**するとともに、女活条例の制定を踏まえ**雇用・就業分野での女性活躍を重点化**

- 「誰もが自らの生き方を性別にとらわれず選択できる社会」（「2050東京戦略」2050年代のビジョン）に向け、取組を強化
- 働く人だけでなく、すべての人が自分らしく生きていくための様々な活動を支援

次期計画の全体像

- ✓ 現状の課題・成果を踏まえ、基本理念、ビジョンの実現に向け、8つの政策の柱を立て、施策を推進

基本理念	誰もが自らの生き方を性別にとらわれず選択できる社会 <small>2050東京戦略</small>			
ビジョン	ビジョンⅠ 男女ともに自分らしく希望する生活ができる社会の実現	ビジョンⅡ 雇用・就業分野における女性活躍の推進	ビジョンⅢ 男女平等参画を阻む意識の改革や環境整備	ビジョンⅣ 配偶者暴力対策
政策の柱	柱1 ライフステージに応じた切れ目のない支援	柱3 女性の選択肢の拡大	柱5 男女平等参画社会の実現に向けた広報・啓発活動	柱7 切れ目のない支援体制の整備
	柱2 家庭・地域での活動支援	柱4 企業の持続的な成長	柱6 安心して暮らせる環境づくり	柱8 関係機関の連携・人材育成

実効性を担保するために数値目標を充実・進捗管理を徹底

- ✓ 男女間格差が見られる分野の数値目標の設定、達成度合いを可視化
- ✓ 「2050東京戦略」の実現に向け、**数値目標やKPIを充実**
- ✓ 毎年度、アクションプランを更新し、「女性も男性も輝くTOKYO会議」にて進行管理・公表

計画期間

令和8年～令和12年度（5年間）

- ✓ 「東京都雇用・就業分野における女性の活躍を推進する条例」の施行（令和8年7月）の時期に合わせ計画を発表

計画のプロモーション

- 計画の公表と女性活躍推進条例の施行を合わせてPRすることで、都の男女平等・女性活躍の気運を一層醸成
- 事業の目的や成果が都民に実感・浸透するとともに、必要とする方が事業を活用できるよう、効果的な広報を実施
 - ✓ 男女平等参画や女性活躍のイベントにとどまらず、関連イベントなど多様な機会を捉え周知
 - ✓ 女子中高生向けワークショップなどでターゲットごとに訴求力の高いプロモーションを展開するとともに、継続的に意見聴取を実施
 - ✓ 広報媒体では、多様な世代に理解しやすい資料を作成するほか、各局と連携して「Tokyo支援ナビ」の更なる活用を促進

継続的な意見聴取



ワークショップの様子



高校生を対象としたライフデザインセミナー

「Pick Up」事業を選定し、積極的にPR

■ 計画に掲載する事業数は約500（うち新規34、拡充70）。PickUp事業として重点施策を設定し、積極的にPR

分類	事業の特徴	全体事業数
Pick Up	<ul style="list-style-type: none"> ・新計画における重点施策 ・都民に積極的にPR 	17事業
本紙掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・主に新規・拡充事業から選定 ・計画との関係が強い 	96事業 ※ピックアップ含む
別紙掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・継続事業 ・男女平等等との関連事業 	約500事業 ※本誌掲載含む



PickUp事業掲載イメージ

■ PickUp事業

柱1	<ul style="list-style-type: none"> ・女子中高生向けオフィスツアー(生文) ・令和八年結婚おうえんキャンペーン(生文) 	柱2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の家事・育児促進に向けたマインドチェンジプロジェクト(生文) ・東京ユースヘルスケア推進事業(福祉) ・女性のがん対策強化事業(保医)
柱3	<ul style="list-style-type: none"> ・女性向けキャリアチェンジ・キャリアアップ支援事業(産労) ・「女性活躍の輪(WA)」の戦略的展開(産労) 	柱4	<ul style="list-style-type: none"> ・働く人の育業応援事業(産労) ・女性の活躍推進に向けた職場環境改善プロジェクト(産労)
柱5	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画の視点に基づく公的広報物ガイドラインの策定(生文) ・女子中高生向け女子大学生との座談会(生文) 	柱6	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(総務) ・痴漢撲滅プロジェクト(都安)
柱7	<ul style="list-style-type: none"> ・都における普及啓発の実施(デートDVカードの配布等)(生文) ・配偶者暴力被害者等に対する住宅セーフティネットの充実(住政) 	柱8	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者暴力防止等民間活動支援事業(生文) ・配偶者暴力職務関係者研修(生文)

各局と計画を推進していくための仕組み

- ✓ 「2050東京戦略」の実現に向け、男女間の違いに着目した数値目標の設定など数値目標やKPIを充実
- ✓ 毎年度、アクションプランを更新し、HPで都民に公表するなどして、達成度合いを可視化
- ✓ 達成状況を第三者機関である「女性も男性も輝くTOKYO会議」に報告。意見を庁内にフィードバックし、PDCAを徹底

< 目標数 >

現行計画：48

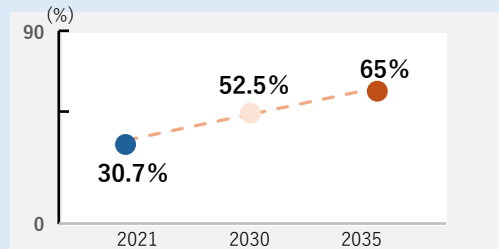


次期計画：70

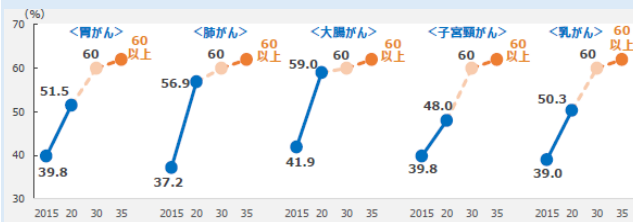
(例)

ビジョンⅠ

【柱1】未婚の男女で結婚意向のある都民の、婚活の具体的な行動をとる方の割合を65%まで向上



【柱2】5がん検診受診率 60%以上

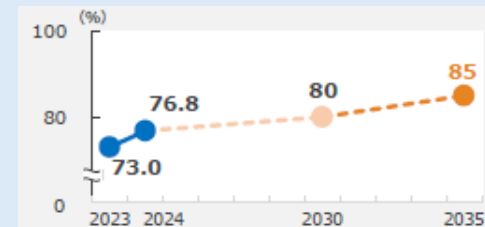


ビジョンⅡ

【柱3】女性(うち25歳～44歳)の有業率を87.5%に向上

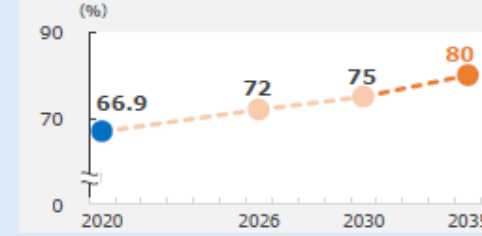


【柱4】都内企業における所定内給与額男女間格差を縮小

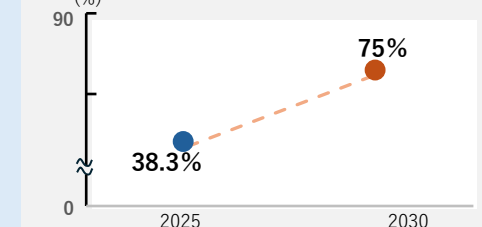


ビジョンⅢ

【柱5】「女性が活躍できると思う」割合を80%以上に向上

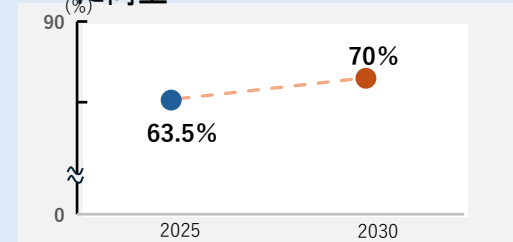


【柱6】犯罪被害に関する関係機関の相談窓口の認知度



ビジョンⅣ

【柱7】配偶者等からの暴力に関する相談機関の認知度70%以上に向上



【柱8】配偶者暴力被害者支援に関して、都と連携する民間団体数

【新設】

毎年度40団体

